

まちの未来を 一緒に描こう



4月16日～18日、24日～26日に市内6地域で、市の施策や将来像について説明し、市民の皆さんと意見交換する「未来を語る市政懇談会」が開催されました。

計384人の市民が参加し、各会場では、生活に密着した課題や産業・教育などについて様々な意見が出されました。主なご意見・市の回答などを紹介します。

☎ 総合政策課(氷上庁舎内) ☎ 82-0916



春日地域

とき…4月16日
ところ…ハートフルかすが
参加者…54人

「人口減少による産業の担い手不足が心配」

春日地域在住 男性

人口減少・少子高齢化で農業・商工業などの地域産業の担い手が少なくなっています。人口減少に合わせたまちづくりも大切ですが、経済力が高まっていかないとまちが消えていってしまうと心配しています。

市回答 持続可能なまちづくりには、地域に根ざした産業やなりわいが必要不可欠です。特に農業は「儲かりさえすればよい」という訳ではなく、コミュニティの維持に必要なものです。大規模農家に集約するだけでなく、就農体系に応じて支援をしたいと思えます。

また、家業などを継承できないことも大きな課題になっています。5月に商工会館内に開設する「Bizステーションたんば」でサポート体制を充実させ、既存企業の新規事業展開や創業支援などにも取り組みます。

市島地域

とき…4月17日
ところ…ライフピアいちじま
参加者…51人

「市島地域の小学校統合に関する審議は慎重に」

市島地域在住 男性

市島地域の小学校統合について、今年度、統合準備委員会が設置されると聞きました。統合ありきではなく、さまざまな観点について審議し、また委員のメンバーにも公募の委員を入れるなど、住民の理解を得られるようにしてください。

市回答 平成30年3月に「市島地域のこれからの教育を考える会」から「できるだけ早い時期に統合することが望ましい」という提言を受けました。小学校の統合は、教育だけでなく地域づくりにも関わる大きな課題です。提言に基づき、それぞれの地域状況を考慮しながら、地域と十分に協議をして、進めていきます。



青垣地域

とき…4月18日

ところ…青垣住民センター

参加者…63人

「職員数が減っても地域との連携は密にとつてほしい」

青垣地域在住 男性

職員 数が減ったことで、地域との関係が希薄になったように感じています。職員が減ったことが結果的に良かったのかをしつかり検証してほしい。また、支所の機能が本庁に集約されると聞くので、職員が減っても市民生活が不便にならないようにしてください。

市回答 行政改革のため、職員数を最大時から174人減らしてきました。それにより人件費の削減は進んでおり、将来のさらに厳しい財政状況を見越して、今後も職員数の適正化を目指しています。

また、支所機能の縮小については具体的にお知らせしていませんが、職員数が減っても不便を与えない体制を作りたいと思っています。職員一人ひとりの業務スキルを上げ、自治協議会などと協力して地域活動が低下しないように努めていきます。

柏原地域

とき…4月24日

ところ…柏原住民センター

参加者…87人

「柏原支所のホテル化は本当に必要なのか？」

柏原地域在住 男性

柏原 支所のホテル化の話がありませんが、厳しい財政状況の中で、本当に必要なのでしょうか。柏原のまちなかは日中は閑散としており、観光客が来るのかと感じています。

市回答 歴史的景観のある柏原支所庁舎をホテルにすることで、さらなる消費が見込まれる宿泊客を獲得し、観光を産業として成り立たせたいと考えています。柏原地域のためだけでなく、柏原地域が活性化することで、市全体が盛り上がることを目標にした取り組みです。将来に向けて、このまちなんとかよみがえらせるよう、頑張っていきたいと思っています。

ホテルの赤字を市が負担するのかという心配がありますが、民間が運営主体となるため、市の負担はありません。今後も市民の皆さんのご理解を求めていきます。

山南地域

とき…4月25日

ところ…山南住民センター

参加者…52人

「人口の中心部集中が心配」

山南地域在住 男性

ま ちづくりの話で、都市機能を中心部に集積していく考えを示されたが、それで人口が中心地に集中していくのが心配です。

市回答 いわゆる「コンパクトシティ」では、都市機能とあわせて人口も中心部に集積するという考えですが、丹波市はそうではありません。一定の都市機能を集積して財政負担を抑えていくという考えはありますが、もう一つ「住み慣れた地域で住み続ける」という柱をもっています。

一見矛盾するように思えますが、公共交通を充実させていくことで、住み慣れた土地で暮らしながら、必要に応じて集積された都市機能を利用する暮らしを目指します。20年後のまちの姿を尋ねたアンケートでは、「地域で住み続け、都市機能の一部を中心部に集積する」が58%と最も多い回答でした。

氷上地域

とき…4月26日

ところ…氷上住民センター

参加者…77人

「市の水道代が高いと感じる」

氷上地域在住 女性

移 住してきて、市の水道料金が他市と比べて高いと感じています。

市回答 丹波市では、市内に890kmの水道管を張り巡らせており、水道管や水道施設などを維持管理するため、水道料金を負担いただいています。

水道管の負担距離に例えると、丹波市では1人あたり13m、対して神戸市では5,000kmの水道管を150万人で維持管理するため、負担距離は3mになっています。他市に比べて広い面積を少ない人口で維持管理するため、水道料金が比較的高い現状にあります。電気と違い、水道は各自治体が独立採算で経営するため、水道料金は自治体ごとに異なります。しかし、県内には料金格差があるのので、国への財政支援なども要請していきたいと思っています。